

IWATSUシングルライン電話機

IW-B31

取扱説明書

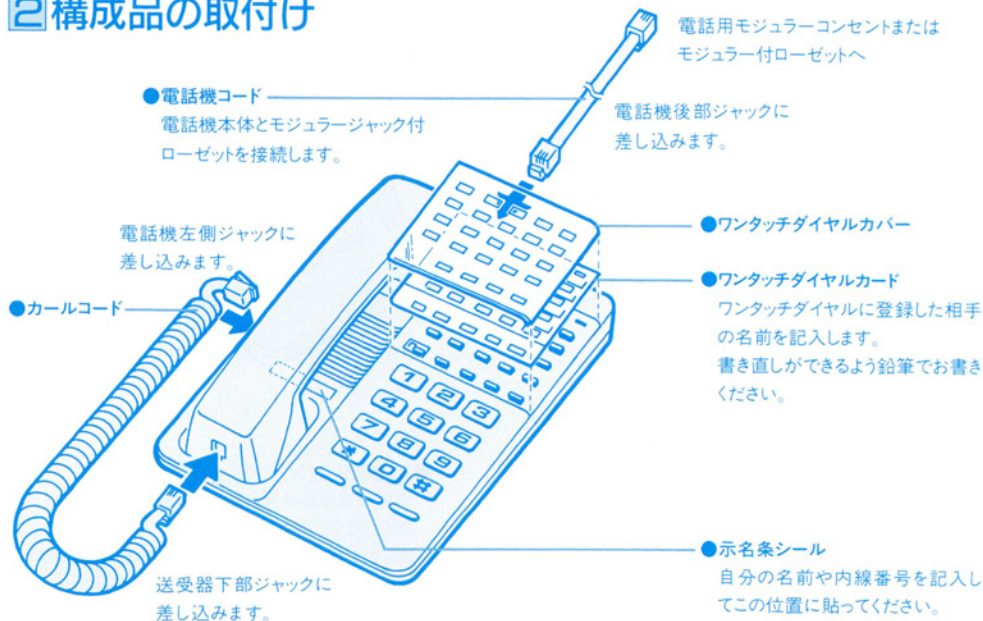
- このたびは岩通シングルライン電話機IW-B31をお買い求めいただき、ありがとうございます。
- 本機は型式認定品ですから安心してお使いになれます。
- ご使用になるまえにこの「取扱説明書」をよくお読みになって正しくお使いください。またこの「取扱説明書」は大切に保存してください。

1. 構成と各部の名称

1 構成品

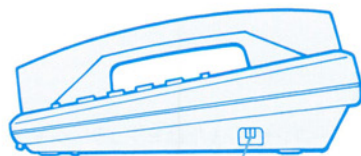
- ① 電話機本体
- ② 送受器
- ③ カールコード
- ④ 電話機コード
- ⑤ ワンタッチダイヤルカード
- ⑥ 示名条シール
- ⑦ 取扱説明書
- ⑧ 申請書ハガキ
- ⑨ 壁掛け用品(一式)
- ⑩ お問い合わせ一覧

2 構成品の取付け



③各部の名称とはたらき

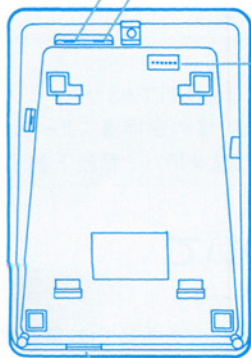




●**着信音量切り替えスイッチ**
着信音量の大きさを切り替えるときに使います。

●**ダイヤルモード切替スイッチ**

●**側音切替スイッチ**
構内交換機に接続したとき側音の調整に使います。



●**ディップスイッチ**
着信感度、着信音量、着信音質、パッド切替、*0°オートポーズ、フッキング時間の各種設定を行なうときに使います。

●**スピーカー音量調整つまみ**

設定

本機には、操作性と通話性能をより良いものにするために次のような各種設定があります。(は出荷時に設定されている側です)

項目	設定	内 容	スイッチ等の場所
ダイヤルモード	<u>20</u> 10 PB	20: DP(ダイヤルパルス)回線で20PPSの場合 10: DP(ダイヤルパルス)回線で10PPSの場合 PB: PB(プッシュボタン)回線の場合	
側音	<u>1</u> 2 3	構内交換機によっては側音(自分の話した声が受話器に戻ってくる音)が耳障りな場合があります。その際、側音切替スイッチにより側音の大きさを調整してください。交換機によって異なってきますが、一般的な目安は下記の通りです。 1: 一般電話回線 2: デジタル交換機 (AXシリーズ、DTシリーズ、CX-200) 3: クロスバー交換機 (IPACシリーズ)	本体後面
*着信音量	大 <u>小</u>	大: 着信音量 大 小: 着信音量 小	本体側面
着信感度	H <u>L</u>	L: 着信感度 低 プランチ接続されている他の電話機よりダイヤルした時、本電話機のベルが共鳴りするとき H: 着信感度 高 プランチ接続した時や、接続した構内交換機によって着信ベルが鳴りにくいとき。	
*着信音量	L <u>H</u>	H: 着信音量 大 L: 着信音量 小	本体裏面 ディップ スイッチ
着信音質	L <u>H</u>	H: 着信音質 高 L: 着信音質 低	
パッド	A <u>M</u>	M: 構内交換機内線接続の場合 A: 一般電話回線接続の場合	
ポーズ	無 <u>有</u>	有: *0°オートポーズ 有 無: *0°オートポーズ 無	
フッキング	0.6 <u>0.2</u>	0.2: 回線開放時間 約200ms 0.6: 回線開放時間 約600ms	

※着信音量の切替えについて詳しくは、5ページの「着信音量の切替え」をご覧ください。

2. ご使用にあたって

1 届け出、手続き

- ご使用にあたっては電話局への届け出が必要です。添付のハガキに住所、氏名、電話番号を記入のうえ、お客さまの加入電話局へお送りください。

2 設置場所

- 次のような場所での使用は避けてください。思わぬ事故や故障の原因になります。
 - 発熱器具の近くや直射日光の当たる場所
 - 水のかかる場所や湿気の多い場所
 - 振動の多い場所や不安定な場所
 - 磁気を発生する機器の近く、放送局の送信所、各種無線設備などの近く

3 お手入れ

- ぬれたぞうきんや、シンナー、ベンジンなどの薬品でふくと、故障や変色の原因となります。お手入れは柔らかい乾いた布でふいてください。

4 取付方法

- 本機はモジュラーコンセントまたはモジュラージャック付ローゼットにプラグで差し込むだけでお使いになれます。(3Pコンセントの場合は、変換アダプターを使用してください)
- モジュラー式や3P式の差し込みコンセント方式以外の場合は、電話局へ工事を依頼してください。(有料)

■ダイヤルモードの設定

電話回線の種類に応じてダイヤルモード切替スイッチを設定します。

- 20:DP(ダイヤルパルス)回線で20PPSの場合
- 10:DP回線で10PPSの場合
- PB:PB(プッシュボタン)回線の場合

■ご注意

- 共同電話、公衆電話などにはご使用できません。
- 構内交換機に接続する場合、構内交換機によっては特性が合わない場合がありますので営業所へご相談下さい。

5 ブランチ接続について

- ブランチ接続は2台ブランチまでです。
- この電話機と他の電話機とのブランチ通話では、電話機の種類や電話局からの距離によって通話できなくなることがあります。その時は片方の送受器をおろせば、通話ができます。
- ダイヤルしたとき、もう一方の電話機のベル音が鳴ることがありますが故障ではありません。

3. 基本的な使い方

1 電話がかかってきたら

- ① 着信音(ベル)が鳴り、着信ランプが点滅します。
- ② 送受器をとって、相手とお話ください。

■ 着信音量の切替え

本機には本体側面の着信音量切替スイッチ(大-小)と本体裏面のディップスイッチ(L-H)の2つの着信音量切替スイッチがあります。通常はディップスイッチの着信音量切替スイッチはHに設定し、音量の切替えは本体側面の着信音量切替スイッチで切替えてご使用ください。本体側面のスイッチを小にしてさらに小さい音にしたい場合には、ディップスイッチをLに設定します。

2 電話をかけるとき

■ 送受器を上げてかけるとき

- ① 送受器を上げます。
- ② 「ツー」という発信音を確認めます。
- ③ ダイヤルボタンで相手の電話番号を押します。
- ④ 相手がでたら、お話ください。

■ 送受器を置いたままでかけるとき

- ① スピーカボタンを押します。
- ② 「ツー」という発信音がスピーカから聞こえます。
- ③ ダイヤルボタンで相手の電話番号を押します。
- ④ 相手の声が聞こえたら、送受器をとってお話ください。

3 同じ相手にかかけ直すとき(再ダイヤル)

相手が話し中のときやでなかったときにワンタッチでかけ直すことができます。

- ① スピーカボタンを押します(または送受器を上げます)。
- ② 「ツー」という発信音がスピーカから聞こえたら、再ダイヤルボタンを押します。
- ③ 相手の声が聞こえたら、送受器をとってお話ください。

ご注意

- 再ダイヤルする前にかかってきた電話でお話中(着信通話中)にフッキングボタンを使用すると再ダイヤル発信ができなくなります。

■ 再ダイヤルの禁止

通話が終わり、送受器を戻す前に再ダイヤルボタンを続けて2回押すと再ダイヤルができなくなります。

ご注意

- フッキングボタンを使用した直後(約2秒)は再ダイヤル禁止ができない場合があります。

4 プッシュ信号によるサービスを受けたいとき

本機をダイヤルパルス回線でご使用の場合でも、預金残高照合、航空券予約などのプッシュホンによる各種サービスが受けられます。プッシュホン回線でご使用の方はトーンボタンを押す必要はありません。

- 1 送受器を上げます(またはスピーカボタンを押します)。
- 2 ダイヤルボタンで相手(サービスセンターなど)の電話番号を押します。
- 3 相手がでたら、トーンボタンを押します。これで発信可能となり、サービスが受けられる状態となります。

5 相手を待たせるとき

通話中に相手を待たせるときにご利用ください。

- 1 通話中に保留ボタンを押します。
- 2 メロディーが相手に流れ、スピーカからも聞こえます。このときこちらの声は相手に聞かれることはありません。また、このとき送受器を置いても通話は切れません。
- 3 保留を解除したいときはもう一度保留ボタンを押します。送受器を降ろしている場合は、送受器を上げると自動的に保留は解除されます。

6 フッキングボタンの使い方

一般電話回線でご使用の場合は、ディップスイッチのフッキング設定を0.6に設定します。

- 電話局のキャッチホンサービスを利用するとき、フッキングボタンを押せば、通話切替ができます。

7 受話音量をかえたいとき

標準音量が小さく感じるときは、受話音量ボタンを押します。受話音量が上がります。(受話音量増幅量約10dB)もう一度押すと標準音量に戻ります。

ご注意

- 送受器を上げたときは、常に標準音量です。
- 受話音量を上げた後、ダイヤル、フッキング、保留またはトーンボタンによるプッシュホン信号送出をすると、受話音量は標準音量に戻ります。

4. ワンタッチダイヤルの使い方

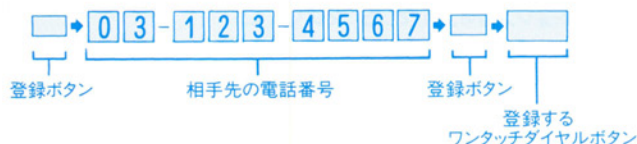
20か所の電話番号をワンタッチダイヤルとして登録できます。なお登録できる電話番号はDP回線のときは最大22桁、PB回線のときは最大21桁までです。

1 ワンタッチダイヤルの登録をするとき

送受器は置いたままで登録します。

- 1 ワンタッチダイヤルカバーをはずします。
- 2 次の順にボタンを押します。

(例) 03-123-4567を登録する場合



- 途中で間違えたときは、一度送受器を上げてから再び戻し、はじめの登録ボタンからやり直してください。
- 続けて登録するときは、上記の操作を繰り返して、続けて20か所まで登録できます。
- ワンタッチダイヤルカバーをつけます。

2 登録した電話番号を変更するとき

新しい電話番号を登録すれば、これまでの番号は自動的に消され、新しい電話番号が登録されます。

3 ワンタッチダイヤルでかけるとき

- 1 送受器を上げます(またはスピーカボタンを押します)。
- 2 「ツー」という発信音を確認めます。
- 3 ワンタッチダイヤルボタンを押します。
- 4 相手が出たら、お話しください。

5. 構内交換機内線として使うとき

1 外線へ電話をかけるとき

ダイヤルボタンで“0”を押して外線の発信音を確かめたあと、相手の電話番号(例えば03-123-4567)を押します。ただし接続する構内交換機の種類によっては、外線発信番号(この例では“0”)は変わる場合があります。

“0”オートポーズ機能について

DP(ダイヤルパルス)回線でご使用のとき、裏面の設定スイッチを「ポーズ有」にすると“0”のあとに自動的に約1.8秒のポーズが入るので、“0”のあとにつづけて相手の番号をダイヤルすることができます。

ご注意

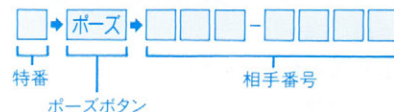
- PB(プッシュボタン)回線でご使用の場合は、ダイヤル時の“0”オートポーズ機能はありません。“0”の後、外線の「ツー」という発信音を確認してから相手の電話番号をダイヤルしてください。ただし、再ダイヤル、ワンタッチダイヤルの場合は“0”オートポーズ機能が働きます。

2 再ダイヤルボタンで外線にかけるとき

構内交換機内線でご使用のときは、“0”オートポーズ機能を設定しません。操作のしかたは一般電話回線の場合と同様です。

3 ポーズボタンの使い方

“0”以外の特番発信(専用線など)で次に再ダイヤルをしようとするときは、次のようにポーズボタンを使います。ポーズボタンを押さないと再ダイヤルしたとき間違がってかかる原因となります。



4 側音の調整をするとき

構内交換機によっては、側音(自分の話した声を受話器に戻ってくる音)が耳障りな場合があります。その時は、側音切換スイッチで調整してください。

5 フッキングボタンの使い方

フッキングボタンを押すと押している時間に関係なく、設定された時間(約200msあるいは約600ms)だけ回線を切断します。転送機能等をフッキングで行なう構内交換機の内線電話機でご使用の場合、確実なフッキングができるので便利です。フッキング時間は接続する構内交換機の仕様により本体裏面の設定スイッチで設定してご使用ください。

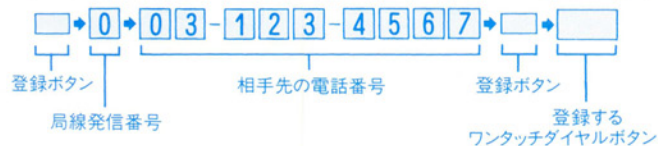
6 ワンタッチダイヤルの登録をするとき

送受器は置いたままで登録します。

①ワンタッチダイヤルカバーをはずします。

②次の順にボタンを押します。

(例1) "0"発信(局線発信)0-03-123-4567を登録する場合



●"0"オートポーズ機能を設定してあれば局線発信番号"0"のあとに自動的にポーズが入るので、"0"のあとに続けて相手の電話番号を登録することができます。"0"オートポーズ機能については8ページをご覧ください。

(例2) 特番発信(専用線発信など)8-1234を登録する場合



●途中で間違えたときは、一度送受器を上げてから再び戻し、はじめの登録ボタンからやり直してください。

③続けて登録するときは、上記の操作を繰り返します。

④ワンタッチダイヤルカバーをつけます。

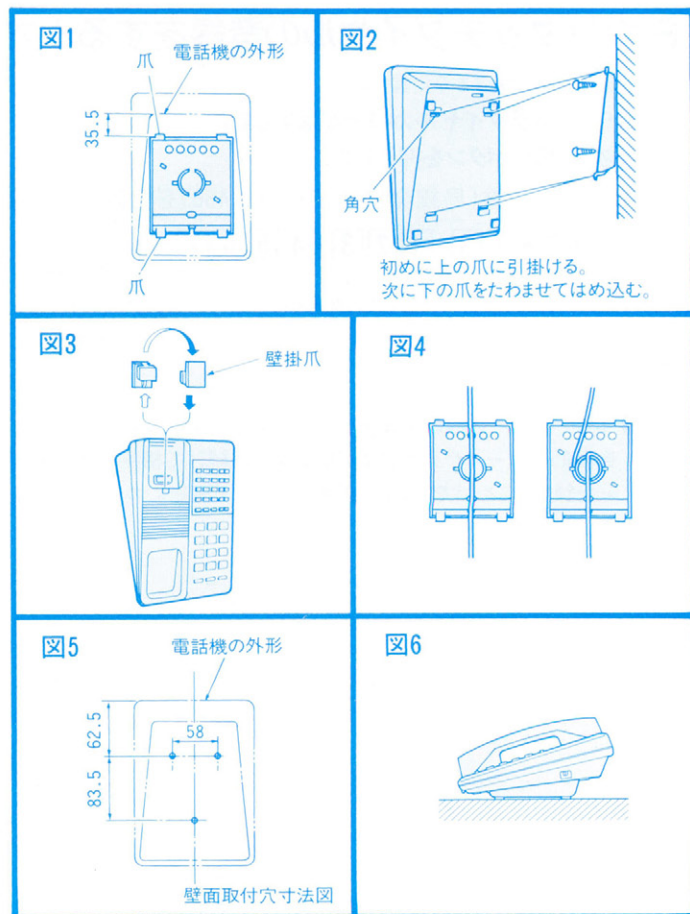
■壁に掛けて使うとき

壁に掛けてお使いになるときは必ず付属の取付用品を使用して、つぎの手順で取り付けてください。

1. 取り付ける位置を決めます。
2. 付属の壁取付用品を、付属のネジで壁に取り付けます。
3. 電話機底面の角穴に、壁取付用品をしっかりとはめ込みます。
4. 電話機の壁掛爪を図3のように付け替えます。
5. 電話機コードは図4のように整理できます。

取付場所について

- 壁に木ネジが使えない場合
木製以外の壁に取り付けるときは、幅105mm × 長さ120mm 厚み12mm以上の木片を壁面に取り付けてから行なってください。
- 金属面等に直接取り付ける場合
図5の寸法図に従って、金属面に穴を開けてから取り付けます。この場合の取付ネジは付属のネジに準じたものを使ってください。
- スイッチボックスに取り付ける場合
電話機コードは図4の中央の穴に通します。
- 壁掛用品は図6のように傾斜を変えた卓上としても使えます。



■保証とアフターサービス

保証書

- 保証書は販売店で所定事項を記入します。「販売店印・保証期間」をご確認のうえよくお読みいただき大切に保存してください。
- 万一故障した場合の無料修理期間は、お買い上げ日より1年間で

修理を依頼される前に

下記の点を調べていただき、なお異常のある時はお求めの販売店にご連絡ください。

- 「ツー」という発信音が聞こえない。
電話機コードおよびカールコードが確実に接続されていますか？
- 相手の電話番号を押しても違った相手にかかる。ダイヤルモード(20/10/PB)が正しく設定されていますか？

保証期間経過後の修理は

修理によって本機の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

*保証およびアフターサービスについてご不明な点があれば、販売店または最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

■主な仕様

適合認定番号	P89-0089-0
機種名	IW-B31電話機
ダイヤル方式	バルス/トーン方式
再ダイヤル	プッシュホン回線接続時:31桁 ダイヤル回線接続時:32桁
ワンタッチダイヤル	プッシュホン回線接続時:21桁 ダイヤル回線接続時:22桁
直流抵抗	約285Ω
本体供給電流	DC20mA以上
外形寸法	幅155×高さ90×奥行き220mm
コード長さ	3m両端モジュラーコード
重さ	約0.8kg

岩通電話機保証書

形 式	IW-B31	保証期間	本体1年間	※お買い上げ日	年 月 日
※ ご愛用者	ご住所 ご芳名	〒	TEL		
※ 販売店	住 所 店 名	〒	TEL		

サンプル

この製品をご使用中、正常なご使用状態で自然故障した場合は、本保証書書記載内容により1年間無料修理いたします。

1. 修理はお買い上げ店に本保証書を提出の上ご依頼ください。
2. お買い上げ年月日、販売店名など(※印欄)記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。
3. ご転居・ご贈答などでお買い上げ販売店に修理を依頼することができない場合は、製品に同梱しております「お問合せ一覧」をご覧の上、もよりの弊社営業所にお問い合わせください。
4. 本書は再発行いたしません。たいせつに保管してください。

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合はお買い上げの販売店、または弊社営業所にお問い合わせください。

保証規定

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理させていただきます。ただし、離島およびこれに準ずる遠隔地への出張修理は、出張に要する実費をいただきます。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
 - (イ)本書のご提示がない場合
 - (ロ)本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または不当な修理や改造による故障・損傷。
 - (ハ)お引き渡し後の移動、落下などによる故障・損傷。
 - (ニ)火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。
 - (ホ)消耗部分が損耗し取り換えを要する場合。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。

サービス実施 年 月 日	故障の状況	診断・点検・結果